

## 第3回 あかし女性の活躍推進会議（議事要旨）

### 日 時

平成 28 年 10 月 23 日(日) 13:30～15:30

### 場 所

明石市役所本庁 806 会議室

### 出席者

正木会長、田端副会長、小河委員、崎野委員、高岸委員、堂本委員、荻野委員、藤原委員、松本委員、森委員、阪口委員、瀬尾委員、大川委員

### 議 事（要旨）

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

- ・ 本日は、8月7日第2回会議で出された政策提言に対する意見のまとめ、当該意見を受けて修正した政策提言（案）を作成した。本日は、これに対する意見交換を行い、この会議での総意を図りたい。

#### 3 議事

- (1) 第2回会議における意見等について  
事務局から資料説明（資料1）
- (2) 女性の活躍推進に向けた政策提言（案）について  
事務局から資料説明（資料2）

### 委員から出された意見の概要

政策提言（案）について、意見交換を行った。

#### 1 報告書修正に係る委員意見等

- サブタイトルの「自らの選択において一人ひとりが活躍できる社会の実現に向けて」の「自らの選択において」という表現について、働き方の多様な選択肢を用意し、柔軟な選択ができるようにする一方で、働くということは、社会の

一員としての義務もあるため、いらぬのではないか。

- 「M字カーブを描いている」という文章に古さを感じる。「M字カーブは存在するもののその底が浅くなりつつある」など、少し進歩がみられるという表現に変えられないか。
- 行政の率先した取り組みが、民間を牽引することにつながることから、明石市役所における先導的な取り組みの推進を求めることを提言に盛り込む。
- 税制改正に関する部分について、現状の政府税制調査会の動向を踏まえ、ニュアンスを変更してもよいのでは。
- 『女性の労働力』という表現は、女性を働かせるというニュアンスが強く、抵抗を感じる。
- ハローワークだけでなく、「商工会議所との連携」について追記できないか。
- 女性のおかれている状況や課題などを前向きにとらえ、提言は希望のもてるものにする。
- 「明石らしさ」・「明石ならではの」の独自性を打ち出す。
- 認定こども園のあり方及び小4の壁については、今後の検討課題である。

## 2 最終提言の取りまとめ、市長への提出について

- ① 委員から出された意見を踏まえ、政策提言（案）を一部修正。文言修正などは会長・副会長へ一任。
- ② 修正後の政策提言を市長へ速やかに報告。取り扱いは会長・副会長へ一任。
- ③ 各委員には、後日事務局より政策提言を別途報告する。
- ④ 政策提言を踏まえ、市は平成29年度予算への反映をはじめ、取り組みを進めることを市長へ要望する。

## 4 閉会あいさつ（政策部長）

- ・ 委員の皆様におかれては、お忙しい中、5月より3回に渡り、非常に熱心なご議論を賜り感謝している。
- ・ 政策提案ということで、予算化、事業化、制度化まで視野に入れていただき、より具体的に、明確にという前提で議論をいただき、まとめていただいたと考えている。
- ・ まち・ひと・しごと創生を図る上で、「女性の活躍」は非常に大切な項目のひとつと認識しており、政策提言を受け、しっかりとした取り組みを進めたい。民間の企業・団体の協力もいただきながら進めていく必要があるため、委員各位からも応援を賜りたい。

## 5 閉会